



### <来週の資金需給予想とイベント予定>

(単位: 億円)

日付	資金需給予想			主な要因	オペ期日	オペスタート	イベント
	銀行券要因	財政等要因	資金過不足				
10/3 (月)	+ 400	▲ 29,500	▲ 29,100	国債発行・償還 (2年) 国庫短期証券発行・償還 (3M)	補完供給 + 27,600 CP等買入 ▲ 200	国債買入 + 12,700	日: 日銀短観 金融政策決定会合における主な意見 (9月21、22日分) 米: ISM製造業景況指数 (9月) 欧: ユーロ圏財務相会合 (ユーログループ)
10/4 (火)	トン	▲ 45,000	▲ 45,000	税保険揚げ			日: 東京都区部CPI 欧: EU財務相理事会
10/5 (水)	トン	▲ 27,000	▲ 27,000	国債発行 (10年)			米: ADP雇用統計 (9月) 米: ISM非製造業総合景況指数 (9月)
10/6 (木)	▲ 1,000	トン	▲ 1,000				日: 日銀支店長会議 日銀地域経済報告 (10月) 欧: ECB議事要旨 (9月会合分)
10/7 (金)	+ 1,000	▲ 5,000	▲ 4,000	流動性供給			米: 雇用統計 (9月)

### <インターバンク>

日銀当座預金残高は週初、518兆500億円から始まった。その後、27日には1998年6月以来約24年3か月ぶりに実施された為替介入 (円買い・ドル売り) の影響により515兆7,900億円まで減少、28日には新型コロナウイルス感染症対応金融支援特別オペの期日落ちによりさらに残高を減らし492兆8,100億円となった。一方で週末となる30日には国債買入れを主因に残高を戻し、493兆300億円を越えた。

無担保コールON物は週を通して資金調達ニーズが弱く、軟調な展開となった。同加重平均金利は週初、前営業日対比 $\Delta 0.008\%$ の $\Delta 0.063\%$ からスタートし、その後は $\Delta 0.069\sim\Delta 0.066\%$ で推移した。四半期末となる30日には資金調達を控える先が多く、 $\Delta 0.073\%$  (速報) まで低下した。なお、 $\Delta 0.060\%$ 台の出合は2020年9月30日以来約2年ぶり、 $\Delta 0.070\%$ 台の出合も2020年9月14日以来約2年ぶりとなった。ターム物は10月スタートの1~2W物を中心に $\Delta 0.070\sim\Delta 0.050\%$ のレンジで取引された。来週の主な予定として、国内では3日に日銀短観 (9月調査) の発表、6日に日銀支店長会議、さくらレポートの公表が挙げられる。海外では7日に米雇用統計の発表が挙げられる。

### [無担保コールレート]

	予想レンジ (%)
O/N	$\Delta 0.087 \sim 0.001$
1M	$\Delta 0.060 \sim 0.020$
2M	$\Delta 0.010 \sim 0.050$
3M	$0.000 \sim 0.130$
6M	$0.000 \sim 0.150$

### [オープン市場]

	予想レンジ (%)
現先 (on/1w)	$\Delta 0.050 \sim 0.000$
CP 3M	$0.000 \sim 0.005$

### <レポ>

足許GC取引は週初 $\Delta 0.09\%$ 近辺から始まり、週央まで同水準で取引された。末初物となる30日受渡しの取引では $\Delta 0.10\%$ 台後半の出合から始まったが、レートの低下は限定的で $\Delta 0.09\%$ まで上昇した。短国3Mの発行日となる3日受渡しの取引では、 $\Delta 0.10\%$ 近辺の出合が中心となった。SC取引は2年430~440回債、5年148~153回債、10年350~367回債、20年171~181回債、30年65~75回債、40年9~15回債などに引合が多く見られた。

### <CP>

今週の入札発行総額は約2兆2,400億円で、週間償還額 (約4兆4,400億円) を下回った。発行市場は、期明けの発行再開となり、鉄鋼や機械、電気業等で大型の案件があったものの、週を通して案件が少なめで落ち着いたマーケットとなった。発行残高は先週末の28兆1,225億円から、29日時点で26兆9,687億円に大きく減少した。市場残高は引き続き高水準で推移しており、発行レートは、0%から若干のプラスレートでの出合となった。

来週の週間償還額は、約2,800億円となっている。発行市場は、期明けの発行と5・10日発行が重なることから、相応の発行が見込まれる。発行レートは、0%近辺での出合が多く、一部発行残高が積みあがった銘柄については若干のプラスレートを予想する。

### <TDB>

9月30日の3M1111回債の入札は、最高落札利回り $\Delta 0.2061\%$  (前回債 $\Delta 0.1716\%$ )、平均落札利回り $\Delta 0.2327\%$  (前回債 $\Delta 0.1913\%$ ) となった。来週は10月6日に6M (1112回)、10月7日に3M (1113回) の入札がある。

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。